

ふくい女性ネット

REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

4月から始まった第6期の活動は、早くも折り返し地点となりました。前半の講義ではビジネススキルを身につけるとともに、メンバー同士の交流も深まり、キャリアアップへの意欲が高まってきました！ お互いを磨きあえる仲間がいるって、素敵ですね。そして、9月からは、実践的なスキルを磨く後半パートに突入しました！！



お茶の水女子大学講義「ワーク・ライフバランス」



質問に丁寧に答えてくださる永瀬教授

7月23日(火)、お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 永瀬伸子教授をお迎えして、「ワーク・ライフ・バランス」講座が行われ、働きやすい職場環境について学びました。

出産後の正社員就労を促進するために必要なことは以下の3点です。

- 1 職場が育児をサポートする雰囲気があり、仕事の負担が重すぎないこと
- 2 仕事の面白みがあること
- 3 夫の労働時間が長すぎないこと

また、昇進意欲を高めるためには、成長機会のある仕事やロールモデルの存在が大きいと言えます。

永瀬教授を囲んでの意見交換会も行われ、女性の管理職は、時間に拘束されるという概念を払拭するため、原則定時帰宅でも工夫で遜色のない新しい管理職をつくる事例や、永瀬教授の子育てのエピソードも紹介され、これからの転機や問題解決の際のヒントとなる話し合いになりました。

働く女性にとって仕事と家庭の両立はとても大切な課題であり、周りの理解や協力を得ながら、モチベーションを高め、新たな可能性へ繋がればと思います。

(担当: 吉田美)



盛り上がりを見せた意見交換会



ビジネススキル講座「女性のメンタルヘルス」



8月8日(木)、講師の福井CBTセンター 別司 ちさとさんから「うつ病」を中心に、女性のメンタルヘルスについて学びました。

「うつ病」は早期発見・早期治療をすれば早く治る病気であるということ、「うつ病」とは何か、どんな症状が心身に現れるのかということ、また、うつ病の人に対して声をかける場合の言葉の選び方についても解説を受け、その人自身の物事に対するとらえ方や解釈をそのまま受け止めることが大事だと知りました。

講義の中で、次の2つのうつ病予防法も教えていただきました。

- ① 頭で考えていることを書き出して整理する。
- ② 生活の中の小さなできごとに目を向け、達成感・満足感がどのくらい得られるかデータをとる。

この2つを日ごろから実践することにより、頭の中のブレーキとアクセルをコントロールできる、とのことでした。

今回の講義で、うつ病に対しての正しい知識を得られたことに加え、予防法や対応についても学ぶことができました。これらの情報をしっかり頭に入れて、今後職場や私生活で生かしていきたいと思います。

(担当: 亀田、三上)



事例を交えた分かりやすい解説



仮想プロジェクト①「プロジェクトの進め方」



仮想プロジェクトは、5～6人のグループで提示された課題の解決方法を企画立案し、プレゼンテーションまでを実践する5回シリーズの講義です。

今年度の課題「越前和紙を使ったビジネスプラン」

～越前女紙倶楽部の“女紙”^{めがみ}とめぐる越前和紙の紙漉き工房～



和紙産地のお話にもメンバーも興味津々

講義に先立ち、紙作りの現場を体感しようと、**越前女紙倶楽部 石川靖代さん**の案内で、越前市(旧今立町)の製紙工場の見学を行いました。

機械でふすま用和紙などを手掛けている工場、手漉きで一枚一枚製造される和紙工房、映画のロケ地にもなり、著名な日本画家の和紙を漉いた製紙所の3か所をめぐり、その製造過程の違いや特長を学びました。丁寧に説明していただき、写真やメモを取りながらメンバーは熱心に聞き入っていました。

～越前女紙倶楽部とは～

今立に和紙作りを伝えた岡太神社の女神「川上御前」にちなみ、越前和紙の製紙会社の女性でつくる団体です。越前和紙知名度の向上と産地の活性化を目指して、女性ならではの視点で新たな商品開発やデザイン力強化などの活動を行っている素敵な“女紙(めがみ)”の皆さんです。

仮想プロジェクト グループワークスタート！



広告代理店のノウハウを学びました

後半は、**株式会社電通の 林 信貴 さん**を講師にお迎えし、『プロジェクトの進め方』について学びました。

林さんは、**プレゼンテーションとは『目的を持ったコミュニケーション』**だと話され、提案を聞いた相手から「わかりました。」ではなく、「面白い。私ならこんなことをしたい。」という言葉を引き出した時こそ成功だと話されました。

アイデア出しの実践として、グループでブレインストーミングを行い、越前和紙を使った新商品を考えました。越前和紙の高級感をヒントに“エンディングノート”や縮まない性質を活かした“食器”などの案が出ましたが、すでに商品化されているものが多く、

改めてアイデア出しの難しさを実感し、今後取りかかる仮想プロジェクトに向けて身が引き締まる思いがしました。

今回の講義を通して、プレゼンテーションを成功させる為には、目標とかみくだいた課題をチームで共有した上で、製品特徴をよく把握し、更に外部に目を向けて流行や世の中のニーズを把握するなど色々な角度からの検証が必要だと学びました。さまざまな業種から集まっているメンバーならではのアイデアで、素敵なプランをこれから作り上げていきます！（担当：松田、廣澤）



初めてのグループワークにも熱が入ります

－編集後記－ 9月から本格的に仮想プロジェクトが始まりました。それぞれのチームで切磋琢磨して、職場や関係者の方に成長した姿をしっかりと伝えられるよう頑張っていきたいと思います。

ふくい女性ネット（第6期）参加企業：ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

学校法人青池学園 若狭医療福祉専門学校
株式会社 GAIA
NPO 法人 男女平等推進協会えちぜん
日本商運株式会社
福井貨物自動車株式会社
福井県
学校法人福井仁愛学園
福井鋸螺株式会社
松文産業株式会社

アボットジャパン(株)勝山事業所
株式会社信越マグネット
永森建設株式会社
ネットヨタ福井株式会社
福井県国民健康保険団体連合会
(公財) 福井県文化振興事業団
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT
(33社 50音順)

株式会社エイチアンドエフ
株式会社 SHINDO
日華化学株式会社
株式会社パケットデズ
福井県商工会連合会
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ブリッジ

越前町
税理士法人 たすき会
新田塚コミュニティ株式会社
株式会社ヒューマン・デザイン
福井赤十字血液センター
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
北陸電力株式会社福井支店